

高校生 職業インタビュー



7月19日に芦間高校1年生の生徒さんから「職業インタビュー」を受けました。

芦間高等学校は、平成14年に総合学科が創設されて以来、「自分の進路は自分で切り拓く」ということを基本概念として指導されており、自己の在り方や生き方について考えさせ、生涯にわたって学習に取り組む意欲や態度を養うことを目標に「産業社会と人間」という科目を、教育課程に位置付け活動されています。

「将来の夢にむかって...」

将来、看護職に就くことを考える生徒さんから、具体的にどのような仕事をしているのか、休みはどのくらいあるか、看護師としてやりがいに感じる事、逆に大変なこと、看護師を目指す上で高校生のうちに取り組んでおけば良かったと感じることは？など様々な質問があり、当院看護師が一つの質問に丁寧に答え、高校生の皆さんは、真剣にメモを取りながら真剣に聞いていました。

高校生の若いパワーに触れ、インタビューを受けた側も元気をもらい、社会人としてすべきことを再認識しました。



卒業後の進路や就職を考えるうえで、今回のインタビューが少しでも役に立てば幸いです。目標に向かって頑張ってください。